

# 投資をもっと自由に！ NASDAQ100の魅力と 相場局面に応じた ETF投資戦略



[iFreeETF/ダイワ上場投信 専用サイト](https://www.daiwa-am.co.jp/etf/index.html)  
<https://www.daiwa-am.co.jp/etf/index.html>

2022年11月5日（土）

設定・運用は…

**大和アセットマネジメント**

Daiwa Asset Management

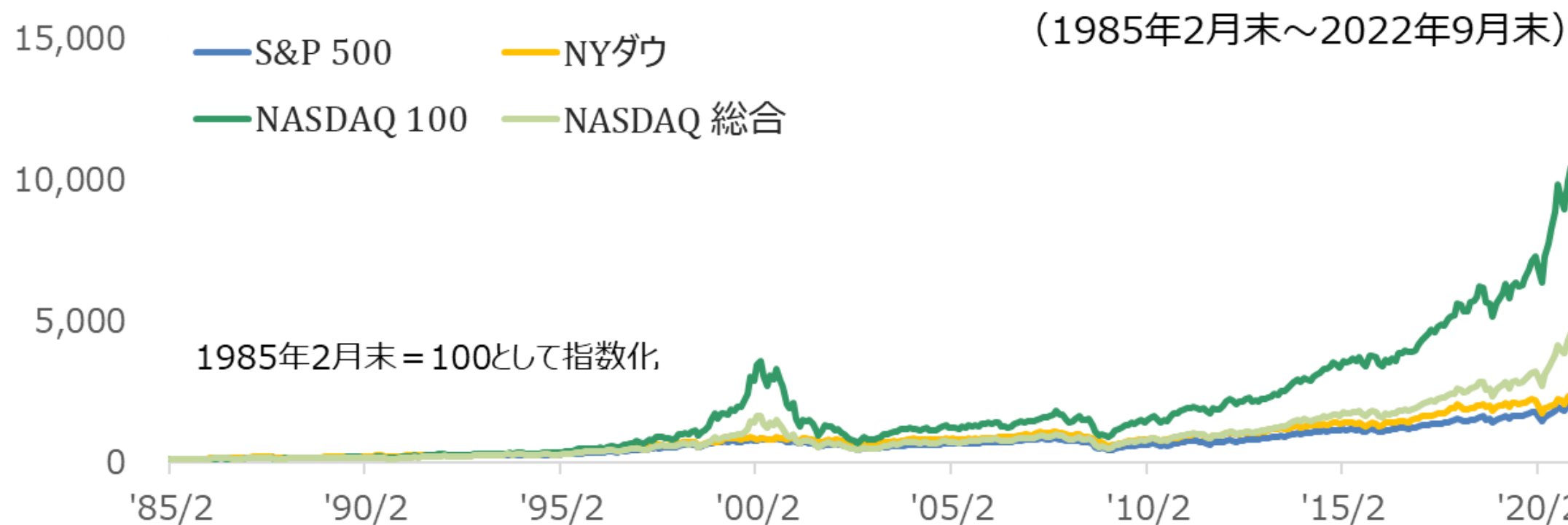
〈委託会社〉

商号等 大和アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号  
加入協会 一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会

# 01. NASDAQ100の魅力

他の米国株価指数と比較して、  
長期にわたり良好なパフォーマンスをあげています

## 主な米国株価指数の推移



※各指数は米ドルベース、配当なし

(出所) Bloomberg、各種資料を元に大和アセット作成

# 01. NASDAQ100の魅力

21世紀のイノベーションをリードする

次世代テクノロジー企業・プラットフォームで構成

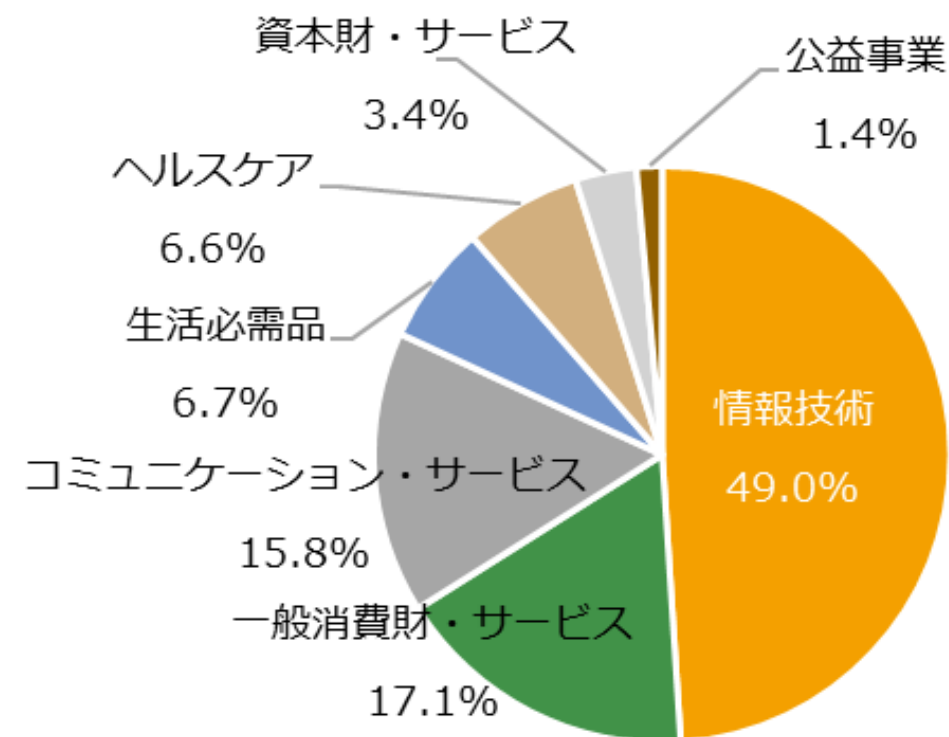
## 組入上位10銘柄

No	銘柄名	セクター	ウェイト
1	アップル	情報技術	13.3%
2	マイクロソフト	情報技術	10.4%
3	アマゾン・ドット・コム	一般消費財・サービス	6.9%
4	テスラ	一般消費財・サービス	4.9%
5	アルファベット（クラスC）（※1）	コミュニケーション・サービス	3.5%
6	アルファベット（クラスA）（※2）	コミュニケーション・サービス	3.4%
7	メタ・プラットフォームズ	コミュニケーション・サービス	2.8%
8	エヌビディア	情報技術	2.5%
9	ペプシコ	生活必需品	2.2%
10	コストコホールセール	生活必需品	2.1%

（※1）議決権なし （※2）議決権あり

（2022年9月末時点）

## 業種別構成比率



※GICSによる産業分類

（2022年9月末時点）

（出所） Nasdaqのデータを元に大和アセット作成

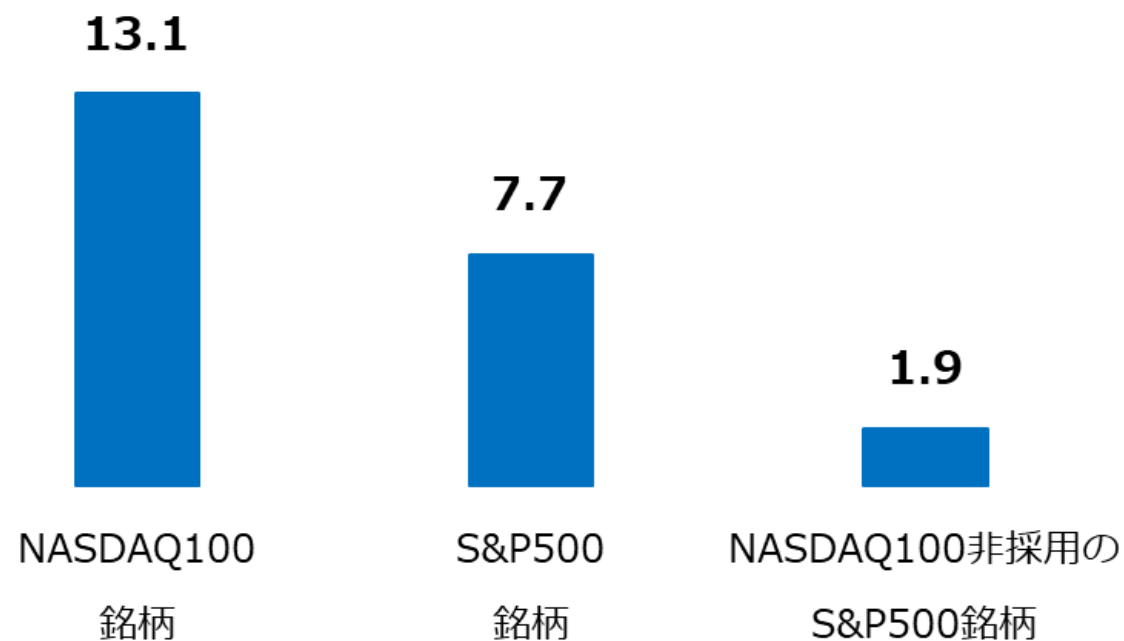
# 01. NASDAQ100の魅力

イノベーションや経済成長につながる研究開発を積極的に行う企業が多く、1株当たり利益は継続的に増加

## 年間研究開発（R&D）費の加重平均

(単位：10億米ドル)

(2021年12月末時点)

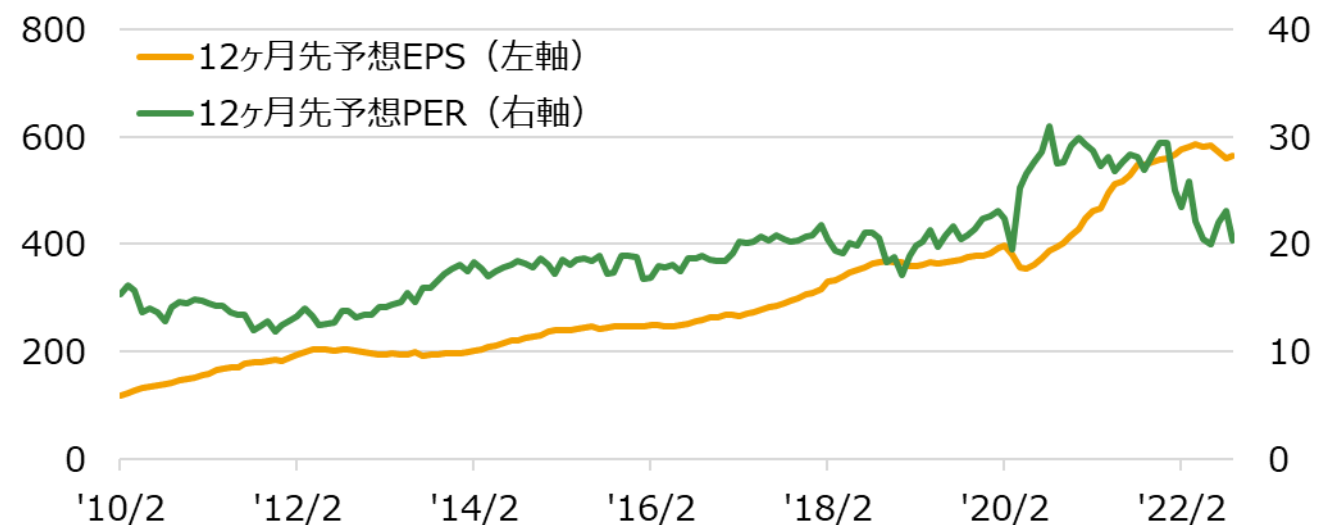


(出所) Nasdaq、Factset

## NASDAQ100の予想EPS（1株当たり利益）とPER（株価収益率）

(2010年2月末～2022年9月末)

(倍)



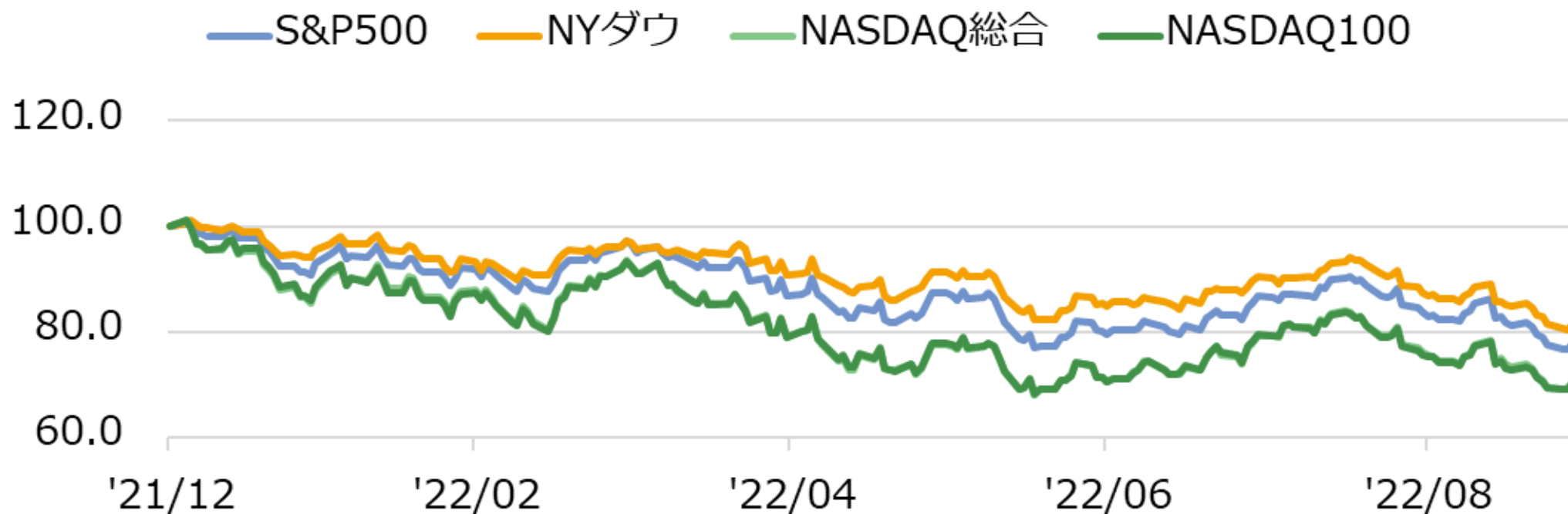
(出所) Bloomberg、リフィニティブ

# 01. NASDAQ100の魅力

米国の金利上昇による成長株からの資金流出、巣籠り需要  
一服からの業績拡大の終息懸念により、今年は調整局面に

## 主な米国株価指数の推移

(2021年12月末～2022年9月末)



※各指数は米ドルベース、配当なし

(出所) Bloomberg、各種資料を元に大和アセット作成



# 01. NASDAQ100の魅力

NASDAQ100の様々な相場局面に応じて  
ご投資いただけるラインナップが揃っています！

## iFreeETF NASDAQ100シリーズ

**2840** iFreeETF NASDAQ100 (為替ヘッジなし)

**2841** iFreeETF NASDAQ100 (為替ヘッジあり)

**2842** iFreeETF NASDAQ100インバース

**2869** iFreeETF NASDAQ100レバレッジ

**2870** iFreeETF NASDAQ100 ダブルインバース

**11月16日上場予定！**

**11月16日上場予定！**

## 02. 相場局面に応じた活用方法

①長期投資前提で、組入資産&米ドルの値上がりに期待したい！

### 2840 iFreeETF NASDAQ100 (為替ヘッジなし)

#### ETFの概要

上場日	2022年2月2日
連動対象指数	NASDAQ100指数 (円ベース)
決算	年2回 (3月10日、9月10日)
運用管理費用 (信託報酬)	0.22% (年率・税込)
取引所取引単位	1口

#### NASDAQ100指数 (円ベース) の推移

(2020年8月末～2022年9月末、日次)



2020年8月末を100として指数化

(出所) Nasdaqのデータを元に大和アセット作成

## 02. 相場局面に応じた活用方法

②長期投資前提で、組入資産の値上がりに期待したい！

為替リスクは極力取りたくない！

### 2841 iFreeETF NASDAQ100 (為替ヘッジあり)

#### ETFの概要

上場日	2022年2月2日
連動対象指数	NASDAQ100指数 (円建て、円ヘッジ)
決算	年2回 (3月10日、9月10日)
運用管理費用 (信託報酬)	0.22% (年率・税込)
取引所取引単位	1口

#### NASDAQ100指数 (円建て、円ヘッジ) の推移

(2020年8月末～2022年9月末、日次)



2020年8月末を100として指数化

(出所) Nasdaqのデータを元に大和アセット作成

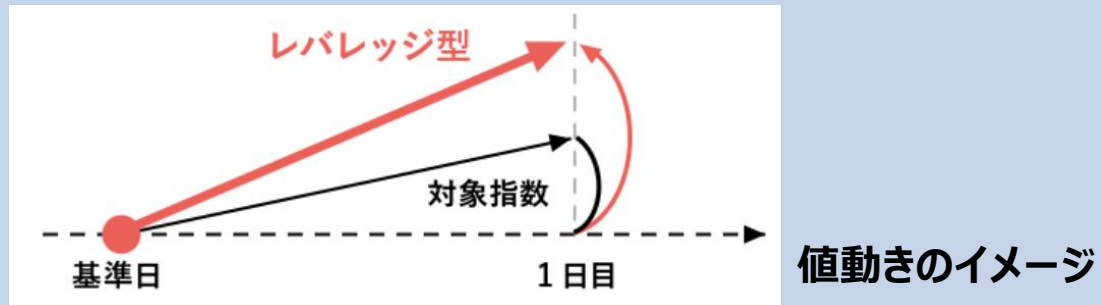


## 02. 相場局面に応じた活用方法

相場の一時的な上昇、下落局面に応じて機動的に売買し、  
大きなリターンを狙いたい！

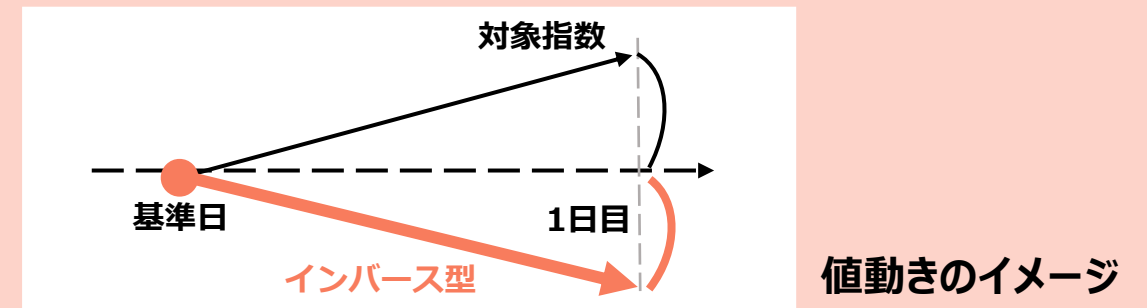
### レバレッジ型

- 「レバレッジ」とは「てこ」という意味であり、てこの原理のように対象指数に対し、**日々の変動率の2倍等**の値動きを目指すように設定されたものです。



### インバース型

- 「インバース」とは「逆」という意味であり、対象指数の**日々の変動率の逆**（-1倍等）の値動きを目指すように設定されたものです。



レバレッジ・インバース型は、「日々の変化率」に連動して、  
上昇・下落相場で効率的にリターンを求める商品  
一方で、長期間保有すると、想定するパフォーマンスからの乖離が発生する点に留意

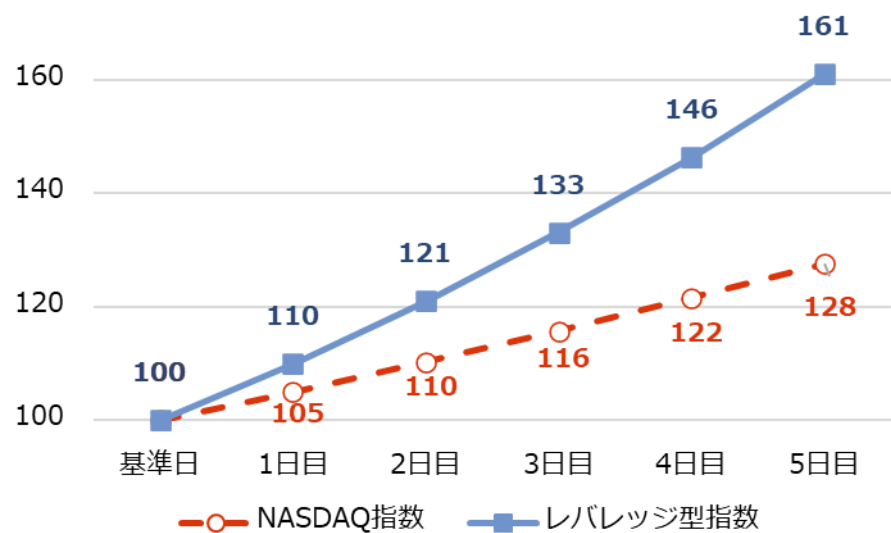
## 02. 相場局面に応じた活用方法

### ーレバレッジ・インバース型の値動きについてー

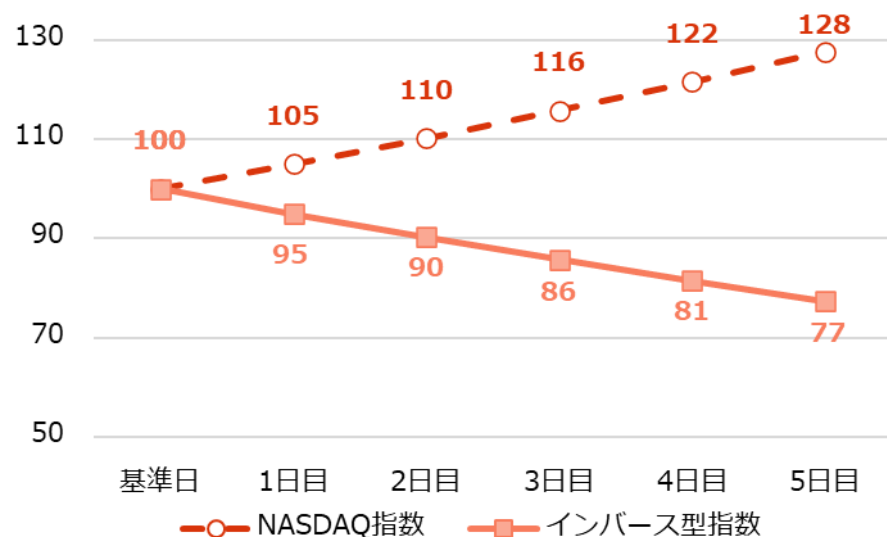
#### 相場が上昇局面にある場合

【例】NASDAQ100指数が1日目から5日目まで前日比5%ずつ上昇した場合

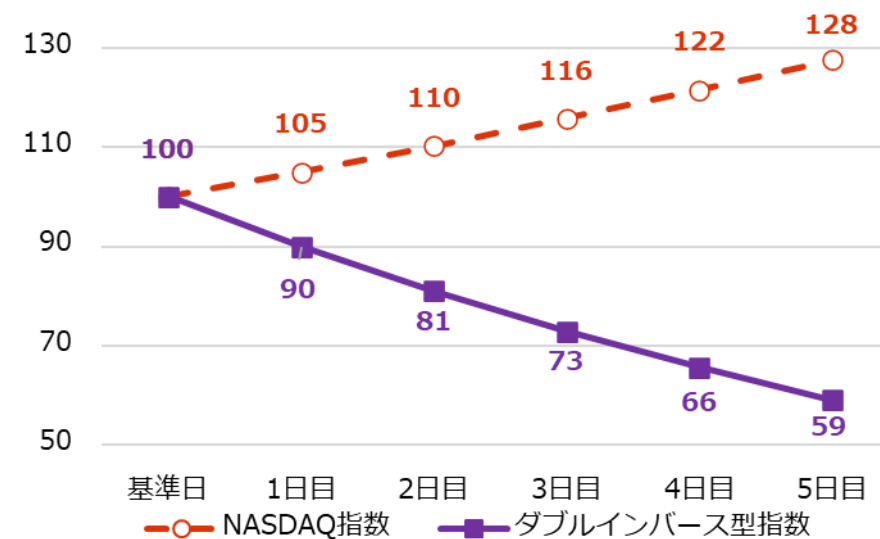
#### レバレッジ型（2倍）



#### インバース型（-1倍）



#### ダブルインバース型（-2倍）



5日目と基準日を比較すると、NASDAQ100指数：100→128（28%上昇）に対して、レバレッジ型：100→161（61%上昇）  
インバース型：100→77（23%下落）ダブルインバース型：100→59（41%下落）となり、  
それぞれNASDAQ100指数の2倍、-1倍、-2倍とはなっていません。

※上記は、対象指数の値動きをわかりやすく説明するため、細部を省略し抽象化して説明した例であり、実際とは異なりますのでご注意ください。

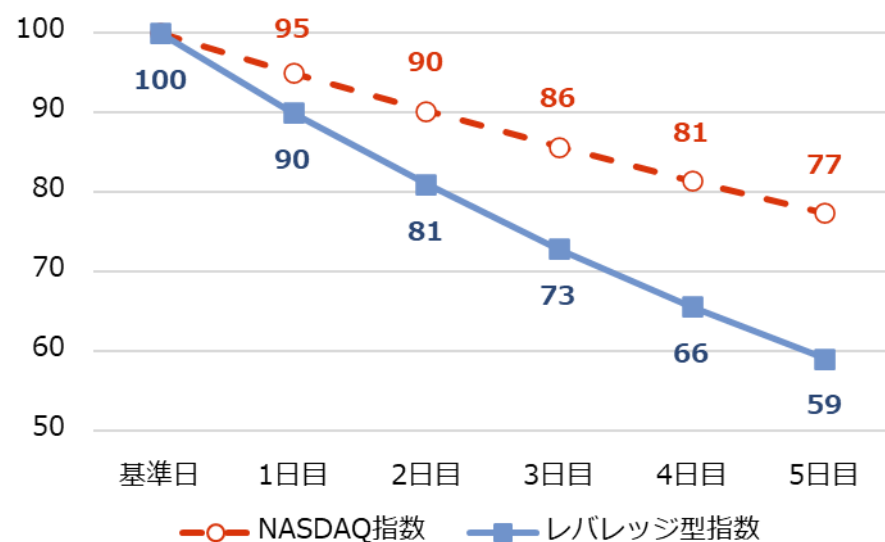
## 02. 相場局面に応じた活用方法

### ーレバレッジ・インバース型の値動きについてー

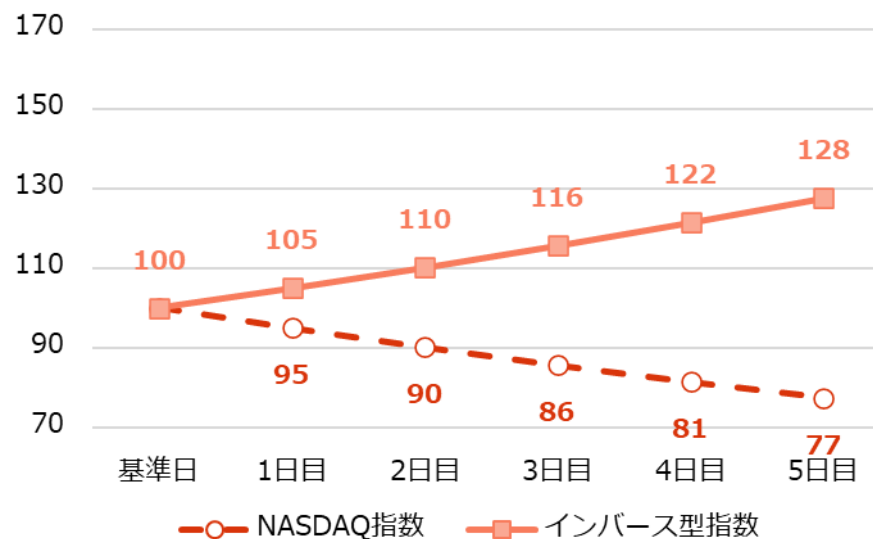
#### 相場が下落局面にある場合

【例】NASDAQ100指数が1日目から5日目まで前日比5%ずつ下落した場合

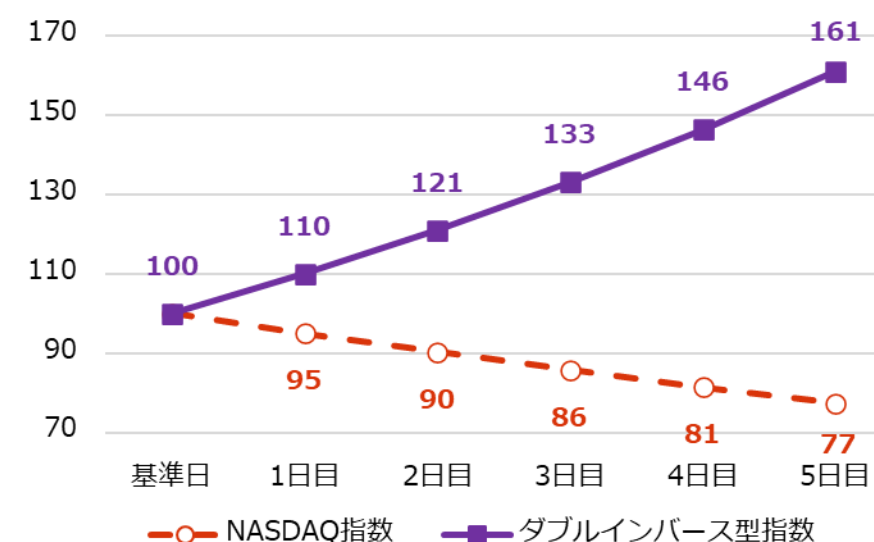
#### レバレッジ型（2倍）



#### インバース型（-1倍）



#### ダブルインバース型（-2倍）



5日目と基準日を比較すると、NASDAQ100指数：100→77（23%下落）に対して、レバレッジ型：100→59（41%下落）  
インバース型：100→128（28%上昇）ダブルインバース型：100→161（61%上昇）となり、  
それぞれNASDAQ100指数の2倍、-1倍、-2倍とはなっていません。

※上記は、対象指数の値動きをわかりやすく説明するため、細部を省略し抽象化して説明した例であり、実際とは異なりますのでご注意ください。

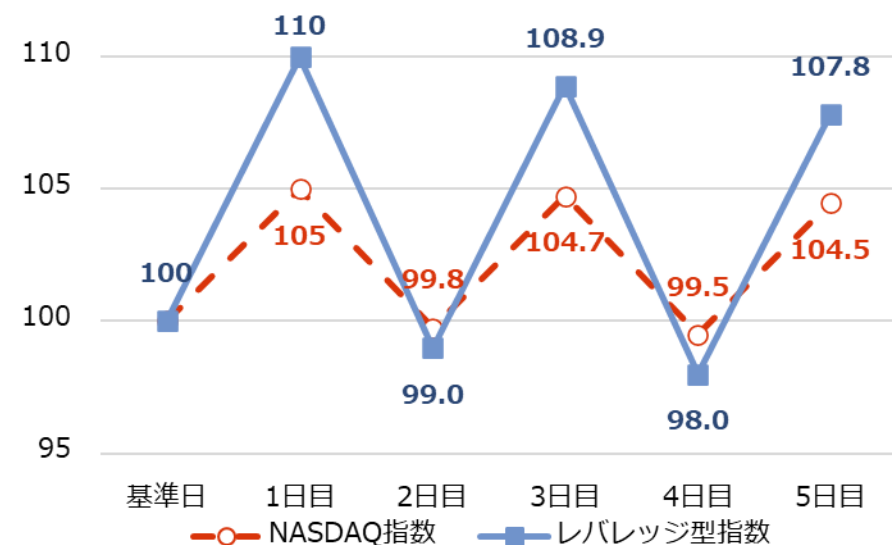
## 02. 相場局面に応じた活用方法

### ーレバレッジ・インバース型の値動きについてー

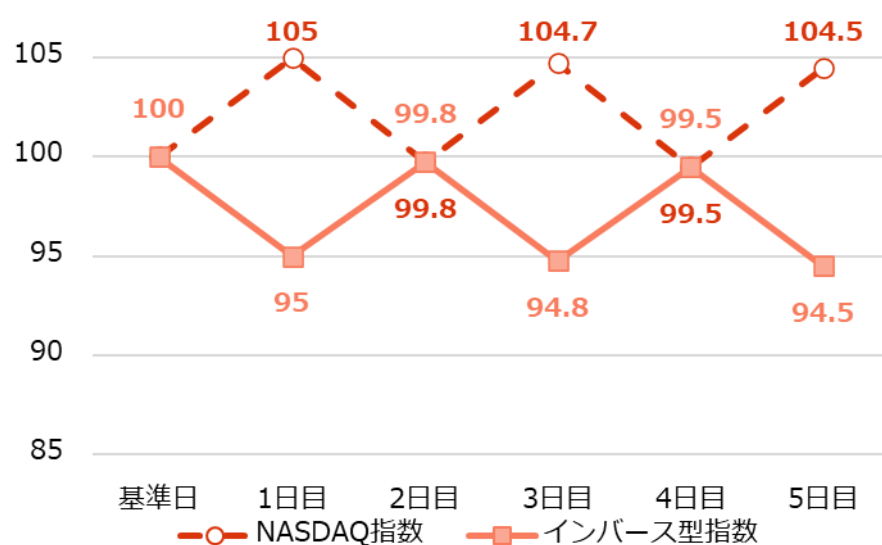
#### 相場がもみ合い局面にある場合

【例】NASDAQ100指数が1日目から5日目まで交互に前日比5%上昇・下落を繰り返した場合

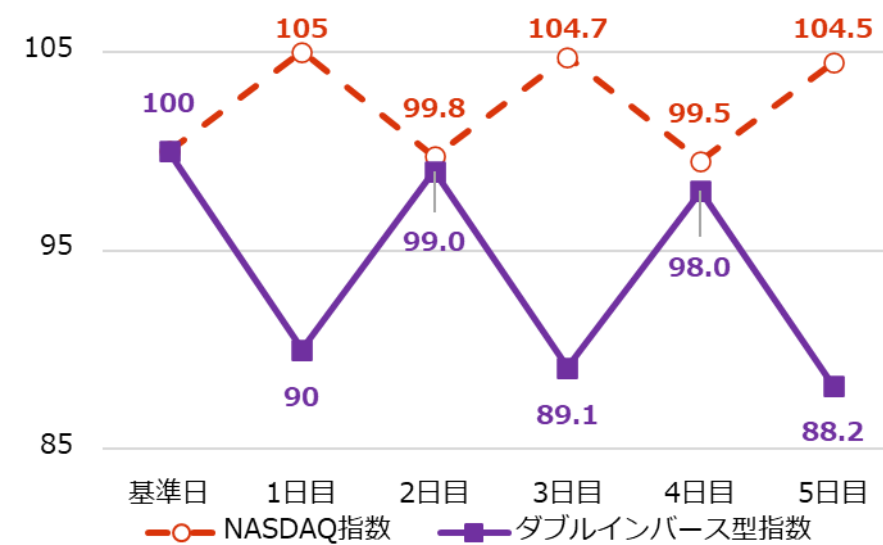
#### レバレッジ型（2倍）



#### インバース型（-1倍）



#### ダブルインバース型（-2倍）



5日目と基準日を比較すると、NASDAQ100指数：100→104.5（4.5%上昇）に対して、レバレッジ型：100→107.8（7.8%上昇）  
 インバース型：100→94.5（5.5%下落）ダブルインバース型：100→88.2（11.8%下落）となり、  
 それぞれNASDAQ100指数の2倍、-1倍、-2倍とはなっていません。

※上記は、対象指数の値動きをわかりやすく説明するため、細部を省略し抽象化して説明した例であり、実際とは異なりますのでご注意ください。

## 02. 相場局面に応じた活用方法

③ 相場の一時的な下落局面で収益を確保したい！

保有株式の下落リスクを軽減したい！

### 2842 iFreeETF NASDAQ100インバース

#### ETFの概要

上場日	2022年2月2日
連動対象指数	NASDAQ100インバース指数
決算	年2回（3月10日、9月10日）
運用管理費用 （信託報酬）	0.825%（年率・税込）
取引所取引単位	1口

#### NASDAQ100インバース指数の推移

（2020年8月末～2022年9月末、日次）



## 02. 相場局面に応じた活用方法

- ④ 相場が下落トレンド入りの局面で  
一時的に大きなリターンを狙いたい！

### 2870 iFreeETF NASDAQ100ダブルインバース

#### ETFの概要

上場日	2022年11月16日
連動対象指数	NASDAQ100ダブルインバース指数
決算	年2回（3月10日、9月10日）
運用管理費用 （信託報酬）	0.825%（年率・税込）
取引所取引単位	1口

#### NASDAQ100ダブルインバース指数の推移

（2020年8月末～2022年9月末、日次）



2020年8月末を100として指数化、いずれも米ドルベース  
（出所）Nasdaqのデータを元に大和アセット作成



## 02. 相場局面に応じた活用方法

⑤ 相場が上昇トレンド入りの局面で  
一時的に大きなリターンを狙いたい！

### 2869 iFreeETF NASDAQ100レバレッジ

#### ETFの概要

上場日	2022年11月16日
連動対象指数	NASDAQ100レバレッジ指数
決算	年2回（3月10日、9月10日）
運用管理費用 （信託報酬）	0.825%（年率・税込）
取引所取引単位	1口

#### NASDAQ100レバレッジ指数の推移

（2020年8月末～2022年9月末、日次）



2020年8月末を100として指数化、いずれも米ドルベース  
（出所）Nasdaqのデータを元に大和アセット作成

# 03. よくいただく質問

## Q1 ETFが連動対象としている指数の値動きは 何を見ればわかるの？

A1 指数算出会社であるNASDAQ社のウェブサイトで見ることができます。

### 大和アセットのETF紹介ページからのアクセス方法 【例】NASDAQ100指数（円建て、円ヘッジ）

①ETF一覧からファンド名をクリックし、

②ページ中央の「概要」タブをクリック、「NASDAQ100指数（円建て、円ヘッジ）のパフォーマンス」をクリックすると…

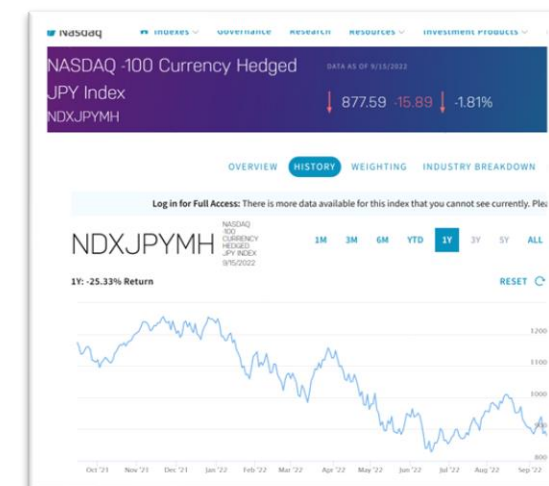
③指数を閲覧することが可能です。

証券コード	分類	ファンド名	基準価額 (前日比)	基準価額 表示単位	売買単位	純資産総額
2628	海外株式	iFreeETF 中国科创板50 (STAR50)	21,598円 (-271円)	10口	1口	3.91億円
2629	海外株式	iFreeETF 中国グレートベイエリア・イノベーション100 (GBA100)	25,430円 (-657円)	10口	1口	2.58億円
2840	海外株式	iFreeETF NASDAQ100 (為替ヘッジなし)	163,699円 (+63円)	10口	1口	38.81億円
2841	海外株式	iFreeETF NASDAQ100 (為替ヘッジあり)	83,969円 (+728円)	10口	1口	48.10億円

<https://www.daiwa-am.co.jp/etf/index.html>

「NASDAQ100指数 (円建て、円ヘッジ)」は、「NASDAQ100指数」をNasdaq, Inc.が円ヘッジ、円換算したものです。(起算日 2020年7月31日)

NASDAQ100指数 (円建て、円ヘッジ) の概要 **NASDAQ100指数 (円建て、円ヘッジ) のパフォーマンス**



## 03. よくいただく質問

### Q2 ETFの「基準価額」と「市場価格」の違いは？

A2 東証取引時間での「市場価格」には、取引時間中の先物の価格推移の反映も期待されます。

#### ETFの2つの価格「基準価額」と「市場価格」の違い

(※1) iFreeETF NASDAQ100ETFシリーズを例に説明

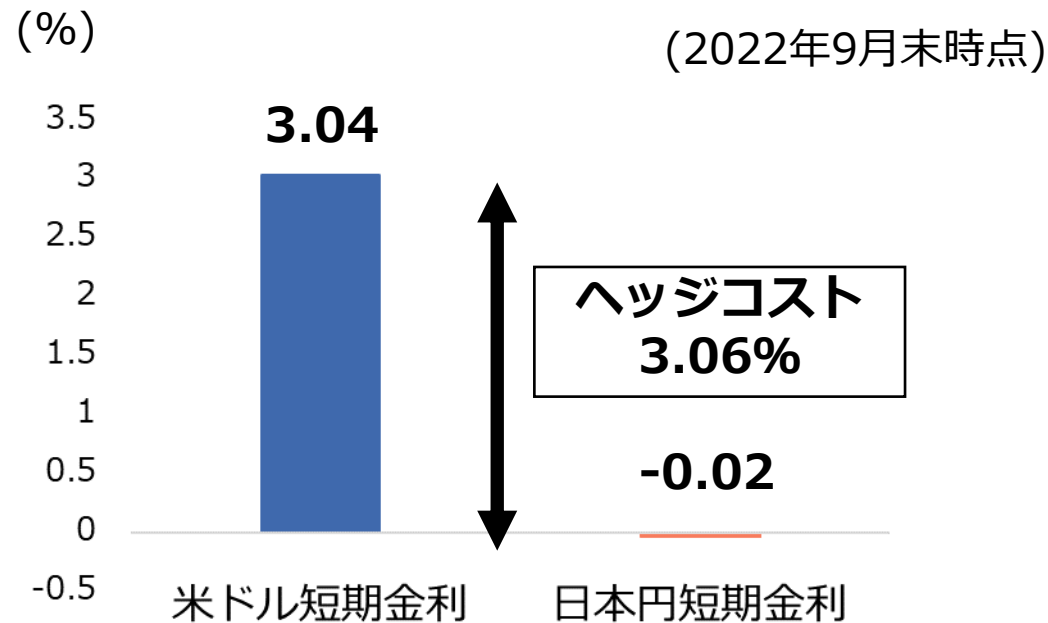
	概要	算出方法等 (※1)	算出頻度
基準価額	ETFの投資対象資産の価値を評価した会計上の価格	①前営業日の米国市場の終値に、 ②日本時間本日10:00の円/米ドルの為替仲値をかけて算出	1日1回 (19:00頃)
市場価格	市場で取引する際の価格	取引時間中のNASDAQ100先物や円/米ドルの為替レートの変動等を反映し、需給の状況に応じて、リアルタイムに変動	取引時間中リアルタイム

## 03. よくいただく質問

### Q3 為替ヘッジコストとは？

具体的にどのくらいかかるの？

**A3-① 為替ヘッジコストとは、為替変動リスクを抑える際にかかるコスト（費用負担）のことです。  
円から米ドル建て資産に投資する場合、主に円と米ドルの短期金利差が為替ヘッジコストとなります。**



為替ヘッジ  
コスト

≡

米ドル短期金利

—

日本円短期金利

※各通貨の見通しや需給などの状況によっては、外貨の調達に対する上乗せ金利が発生し、為替ヘッジコストは短期金利の差と乖離します。

※円の短期金利が米ドルの短期金利より高い場合は、為替ヘッジを行なうことで、金利差分を収益（プレミアム）として受け取ることが可能です。

※通貨間の為替変動を為替ヘッジ取引によって完全に排除することはできません。

※短期金利は、米ドル：CME Term SOFR1M、日本円：JPY Term RFR1Mのデータを使用。

(出所) Bloomberg

## 03. よくいただく質問

### Q3 為替ヘッジコストとは？

具体的にどのくらいかかるの？

A3-② 今年に入ってから米国の利上げにより、日米の金利差は拡大傾向にあります。

#### 米ドル/円のヘッジコストの推移

(2020年8月3日～2022年9月末、日次)



(出所) Bloomberg

## 03. よくいただく質問

### Q4 東証上場の米国株式ETFを取引するメリットは？

(米国取引時間ではなく)  
東証取引時間での取引が可能

日本円での取引が可能

ほぼ24時間体制で取引される  
先物の価格推移を反映

#### NASDAQ100先物とNASDAQ100指数の 日中価格推移 (ティックチャート)

(日本時間2022年8月29日 7:00~2022年9月1日 7:00)



※NASDAQ100先物はEミニNASDAQ100先物を使用 (出所) Bloomberg



# ファンドの費用①

銘柄名	投資者が直接的に負担する費用			投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	購入時手数料	信託財産 留保額	換金時手数料	運用管理費用（信託報酬）		
				料率（年率・税込）		
				その他の費用・手数料		
iFreeETF NASDAQ100 (為替ヘッジなし)	販売会社が独自 に定めるものとしま す。	ありません。	販売会社が独自 に定めるものとしま す。	年率0.22%（税抜 0.2%）以内 （2022年1月13日 現在は、 <b>年率0.22%</b> <b>（税抜0.2%）</b> ）	運用管理費用の総額は、 日々の信託財産の純資産総 額に対して左記の率を乗じて 得た額とします。運用管理費 用は、毎日計上され、毎計算 期末または信託終了のときに 信託財産から支払われます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただけます。</li> <li>● 受益権の上場にかかる費用及び対象指数の商標の使用料（商標使用料）ならびにこれらにかかる消費税等に相当する金額を、受益者の負担として信託財産から支払います。</li> </ul> ※2022年1月13日現在、商標使用料は信託財産の純資産総額に、年率0.08%の率を乗じて得た額となります。 ※2022年1月13日現在、上場に係る費用は以下となります。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間上場料：毎年末の純資産総額に対して最大0.00825%（税抜0.0075%）</li> <li>・追加上場料：追加上場時の増加額（毎年末の純資産総額について、新規上場時および新規上場した年から前年までの各年末の純資産総額のうち最大のものからの増額）に対して、0.00825%（税抜0.0075%）</li> </ul>
iFreeETF NASDAQ100 (為替ヘッジあり)				年率0.22%（税抜 0.2%）以内 （2022年1月13日 現在は、 <b>年率0.22%</b> <b>（税抜0.2%）</b> ）		
iFreeETF NASDAQ100 インバース				年率0.825%（税抜 0.75%）以内 （2022年1月13日 現在は、 <b>年率 0.825%</b> <b>（税抜0.75%）</b> ）		

# ファンドの費用②・投資リスク

銘柄名	投資者が直接的に負担する費用			投資者が信託財産で間接的に負担する費用	
	購入時手数料	信託財産留保額	換金時手数料	運用管理費用（信託報酬）	
				料率（年率・税込）	
iFreeETF NASDAQ100 レバレッジ	販売会社が独自に定めるものとします。	ありません。	販売会社が独自に定めるものとします。	年率0.825%（税抜0.75%）以内 （2022年10月28日現在は、 <b>年率0.825%（税抜0.75%）</b> ）	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎日計上され、毎計算期末または信託終了のときに信託財産から支払われます。
iFreeETF NASDAQ100 ダブルインバース					

- 売買委託手数料などの「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。
- 購入時手数料、換金時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。
- 手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。また、上場投資信託証券は市場価格により取引されており、費用を表示することができません。

## 投資リスク

ETFは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。

基準価額の主な変動要因については次のとおりです。

- 株価指数先物取引の利用に伴うリスク ● 株価の変動（価格変動リスク・信用リスク） ● 公社債の価格変動（価格変動リスク・信用リスク） ● 為替変動リスク ● カントリー・リスク ● その他 ※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

# 基準価額の動きに関する留意点・対象指数に内在する性質に関する留意点①

## 基準価額の値動きに関する留意点

- iFreeETF NASDAQ100（為替ヘッジなし）およびiFreeETF NASDAQ100（為替ヘッジあり）は、信託財産の1口当たりの純資産額の変動率を対象株価指数の変動率に一致させることを目的として運用を行ないます。ただし、主として次の理由から、基準価額の動きが指数と完全に一致するものではありません。● 指数の構成銘柄のすべてを指数の算出方法どおりに組入れない場合があること● 運用管理費用（信託報酬）、売買委託手数料等の費用負担● 株式売買時の約定価格と基準価額の算出に使用する株価の不一致● 指数の算出に使用する株価と基準価額の算出に使用する株価の不一致● 指数の算出に使用する為替レートと基準価額の算出に使用する為替レートの不一致● 株価指数先物およびETFと指数の動きの不一致（先物およびETFを利用した場合）● 株式、株価指数先物取引およびETFの最低取引単位の影響● 株式、株価指数先物およびETFの流動性低下時における売買対応の影響● 指数の構成銘柄の入替えおよび指数の算出方法の変更による影響
- iFreeETF NASDAQ100インバースは、信託財産の1口当たりの純資産額の変動率を対象株価指数の変動率に一致させることを目的として運用を行ないます。ただし、主として次の理由から、基準価額の動きが指数と完全に一致するものではありません。● 株価指数先物の売建玉の時価総額の合計額が必ずしも純資産総額と同額とならないこと● NASDAQ100指数の値動きと、利用する株価指数先物の値動きとの差● 追加設定および解約に対応した株価指数先物取引の約定価格と終値の差● 株価指数先物取引をロールオーバーする過程における、限月の異なる先物間の価格差の変動● 公社債等の短期有価証券への投資による利子収入等があること● 運用管理費用（信託報酬）、監査報酬、売買委託手数料等の負担● 株価指数先物の流動性が低下した場合などにおける売買対応の影響● 株価指数先物の最低取引単位の影響
- iFreeETF NASDAQ100レバレッジは、信託財産の1口当たりの純資産額の変動率を対象株価指数の変動率に一致させることを目的として運用を行ないます。ただし、主として次の理由から、基準価額の動きが指数と完全に一致するものではありません。● 株価指数先物取引の買建玉の時価総額の合計額が必ずしも純資産総額の2倍と同額とならないこと● NASDAQ100指数の値動きと、利用する株価指数先物の値動きとの差● 追加設定および解約に対応した株価指数先物取引の約定価格と終値の差● 株価指数先物取引をロールオーバーする過程における、限月の異なる先物間の価格差の変動● 公社債等の短期有価証券への投資による利子収入等があること● 運用管理費用（信託報酬）、監査報酬、売買委託手数料等の負担● 株価指数先物の流動性が低下した場合などにおける売買対応の影響● 株価指数先物の最低取引単位の影響
- iFreeETF NASDAQ100ダブルインバースは、信託財産の1口当たりの純資産額の変動率を対象株価指数の変動率に一致させることを目的として運用を行ないます。ただし、主として次の理由から、基準価額の動きが指数と完全に一致するものではありません。● 株価指数先物取引の売建玉の時価総額の合計額が必ずしも純資産総額の2倍と同額とならないこと● NASDAQ100指数の値動きと、利用する株価指数先物の値動きとの差● 追加設定および解約に対応した株価指数先物取引の約定価格と終値の差● 株価指数先物取引をロールオーバーする過程における、限月の異なる先物間の価格差の変動● 公社債等の短期有価証券への投資による利子収入等があること● 運用管理費用（信託報酬）、監査報酬、売買委託手数料等の負担● 株価指数先物の流動性が低下した場合などにおける売買対応の影響● 株価指数先物の最低取引単位の影響

## 「NASDAQ100インバース指数」に内在する性質に関する留意点

- 対象指標とする「NASDAQ100インバース指数」は原指標の「NASDAQ100指数」の変動率の「-1倍」（マイナス1倍）の値動きになる指数で、「NASDAQ100指数」の1日の変化率（前日終値と当日終値とを比較して算出）を「-1倍」したものを前日の指数値に乗じて算出されます。指標と原指標は完全な逆相関ではないため、複数日以上計算期間では、複利効果のため指数値は一般的に「NASDAQ100指数」の変動率の「-1倍」とはならず、計算上、差が生じます。この差は当該期間中の「NASDAQ100指数」の値動きによって変化し、プラスの方向にもマイナスの方向にもどちらにも生じる可能性があります。一般に、「NASDAQ100指数」の値動きが一定の範囲内で上昇・下落を繰り返した場合に、マイナスの方向に差が生じ、対象指標は逡減する可能性が高くなります。また、一般に、当該期間が長くなればなるほどその差が大きくなり、対象指標の逡減が強まる特性を持ちます。したがって、当ファンドは、一般的に中長期の投資には向かず、比較的短期間の投資に向く金融商品です。



# 対象指数に内在する性質に関する注意点②・当資料のお取扱いにおけるご注意

## 「NASDAQ100レバレッジ指数」に内在する性質に関する注意点

- 対象指標とする「NASDAQ100レバレッジ指数」は基本的に原指標の「NASDAQ100指数」の変動率の「2倍」の値動きになる指数です。指標と原指標は完全な正相関ではないため、複数日以上の上昇期間では、複利効果のため指数値は一般的に「NASDAQ100指数」の変動率の「2倍」とはならず、計算上、差が生じます。この差は当該期間中の「NASDAQ100指数」の値動きによって変化し、プラスの方向にもマイナスの方向にもどちらにも生じる可能性があります。一般に、「NASDAQ100指数」の値動きが一定の範囲内で上昇・下落を繰り返した場合に、マイナスの方向に差が生じ、対象指標は逓減する可能性が高くなります。また、一般に、当該期間が長くなればなるほどその差が大きくなり、対象指標の逓減が強まる特性を持ちます。レバレッジ倍率に比した高リスク商品であり、初心者向けの商品ではありません。長期に保有する場合、対象資産の値動きに比べて基準価額が大幅に値下がりすることがあるため、そのことについてご理解いただける方に適しています。

## 「NASDAQ100ダブルインバース指数」に内在する性質に関する注意点

- 対象指標とする「NASDAQ100ダブルインバース指数」は基本的に原指標の「NASDAQ100指数」の変動率の「-2倍」（マイナス2倍）の値動きになる指数です。指標と原指標は完全な逆相関ではないため、複数日以上の上昇期間では、複利効果のため指数値は一般的に「NASDAQ100指数」の変動率の「-2倍」とはならず、計算上、差が生じます。この差は当該期間中の「NASDAQ100指数」の値動きによって変化し、プラスの方向にもマイナスの方向にもどちらにも生じる可能性があります。一般に、「NASDAQ100指数」の値動きが一定の範囲内で上昇・下落を繰り返した場合に、マイナスの方向に差が生じ、対象指標は逓減する可能性が高くなります。また、一般に、当該期間が長くなればなるほどその差が大きくなり、対象指標の逓減が強まる特性を持ちます。レバレッジ倍率に比した高リスク商品であり、初心者向けの商品ではありません。長期に保有する場合、対象資産の値動きに比べて基準価額が大幅に値下がりすることがあるため、そのことについてご理解いただける方に適しています。

## 当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は、ETFに関する情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。
- 金融商品取引所における取引価格と基準価額は異なります。金融商品取引所における価格情報等については、売買をお申込みになる証券会社にお問い合わせになるか、ETFが上場する金融商品取引所のウェブサイト等をご覧ください。
- ETFを金融商品取引所で売買される場合には、委託会社作成の投資信託説明書（交付目論見書）は交付されません。売買をお申込みになる証券会社に、当該取引の内容についてご確認ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。

# 当資料で使用した指数等について

「iFreeETF NASDAQ100（為替ヘッジなし）」および「iFreeETF NASDAQ100（為替ヘッジあり）」（以下、総称して「当ファンド」といいます。）は、Nasdaq, Inc. またはその関連会社（以下、Nasdaq, Inc. およびその関連会社を「株式会社」と総称します。）によって、支援、推奨、販売または販売促進されるものではありません。株式会社は、ファンドの合法性もしくは適合性について、または当ファンドに関する記述および開示の正確性もしくは妥当性について認定するものではありません。株式会社は、当ファンドの所有者または公衆一般のいかなる者に対しても、一般的な証券投資または特に当ファンドへの投資についての妥当性や、NASDAQ-100 Indexの一般的な株式市況への追従可能性について、明示的か黙示的かを問わず、何らの表明もしくは保証も行ないません。株式会社と大和アセットマネジメント株式会社との関係は、Nasdaq®およびNASDAQ-100 Indexの登録商標ならびに株式会社の一定の商号について使用を許諾すること、ならびに、大和アセットマネジメント株式会社または当ファンドとは無関係に、ナスダックが決定、構築および算出を行なうNASDAQ-100 Indexの使用を許諾することに限られます。ナスダックは、NASDAQ-100 Indexの決定、構築および計算に関し、大和アセットマネジメント株式会社または当ファンドの所有者の要望を考慮する義務を負いません。株式会社は、当ファンドの発行に関してその時期、価格もしくはその数量の決定について、または当ファンドを換金する際の算式の決定もしくは計算についての責任を負っておらず、また関与をしていません。株式会社は、NASDAQ-100 Indexとそれに含まれるデータの正確性および中断されない算出を保証しません。株式会社は、NASDAQ-100 Indexまたはそれに含まれるデータの利用により、大和アセットマネジメント株式会社、当ファンドの所有者またはその他いかなる者もしくは組織に生じた結果についても、明示的か黙示的かを問わず、何らの保証も行ないません。株式会社は、明示的か黙示的かを問わず、何らの保証も行なわず、かつNASDAQ-100 Index®またはそれに含まれるデータの利用に関する、特定の目的または利用のための市場商品性または適合性については、いかなる保証についても明示的に否認します。上記に限らず、いかなる場合においても、株式会社は、いかなる逸失利益または特別、付随的、懲罰的、間接的もしくは派生的損害や損失について、たとえもし当該損害等の可能性につき通知されていたとしても、何らの責任も負いません。

「iFreeETF NASDAQ100インバース」、「iFreeETF NASDAQ100レバレッジ」、「iFreeETF NASDAQ100ダブルインバース」（以下、総称して「当ファンド」といいます。）は、Nasdaq, Inc. またはその関連会社（以下、Nasdaq, Inc. およびその関連会社を「株式会社」と総称します。）によって、支援、推奨、販売または販売促進されるものではありません。株式会社は、ファンドの合法性もしくは適合性について、または当ファンドに関する記述および開示の正確性もしくは妥当性について認定するものではありません。株式会社は、当ファンドの所有者または公衆一般のいかなる者に対しても、一般的な証券投資または特に当ファンドへの投資についての妥当性や、NASDAQ-100 1x Short Index、NASDAQ-100 Leveraged Index、NASDAQ-100 2x Short Index（以下、総称して「当指数」といいます。）の一般的な株式市況への追従可能性について、明示的か黙示的かを問わず、何らの表明もしくは保証も行ないません。株式会社と大和アセットマネジメント株式会社との関係は、Nasdaq®およびNASDAQ -100® 1x Short Index; NDXS1™、NASDAQ -100 ® Leveraged Index; NDXL™、NASDAQ -100 ® 2x Short Index; NDXS2™の登録商標ならびに株式会社の一定の商号について使用を許諾すること、ならびに、大和アセットマネジメント株式会社または当ファンドとは無関係に、ナスダックが決定、構築および算出を行なう等指数の使用を許諾することに限られます。ナスダックは、当指数の決定、構築および計算に関し、大和アセットマネジメント株式会社または当ファンドの所有者の要望を考慮する義務を負いません。株式会社は、当ファンドの発行に関してその時期、価格もしくはその数量の決定について、または当ファンドを換金する際の算式の決定もしくは計算についての責任を負っておらず、また関与をしていません。株式会社は、当ファンドの管理、マーケティング、取引に関連して一切の責任を負いません。株式会社は、当指数とそれに含まれるデータの正確性および中断されない算出を保証しません。株式会社は、当指数またはそれに含まれるデータの利用により、大和アセットマネジメント株式会社、当ファンドの所有者またはその他いかなる者もしくは組織に生じた結果についても、明示的か黙示的かを問わず、何らの保証も行ないません。株式会社は、明示的か黙示的かを問わず、何らの保証も行なわず、かつ当指数またはそれに含まれるデータの利用に関する、特定の目的または利用のための市場商品性または適合性については、いかなる保証についても明示的に否認します。上記に限らず、いかなる場合においても、株式会社は、いかなる逸失利益または特別、付随的、懲罰的、間接的もしくは派生的損害や損失について、たとえもし当該損害等の可能性につき通知されていたとしても、何らの責任も負いません。

CME Term SOFR1Mは、CME GROUPによりライセンス供与されている金利指標であり、著作権等の知的財産権、その他一切の権利はCME GROUPに帰属します。CME GROUPは、大和アセットマネジメントが提供する商品やサービスとは関係がなく、それを推奨、宣伝をするものではありません。また、大和アセットマネジメントが提供する商品やサービスに関わるデータの正確性・完全性等に関して一切の責任を負いません。

# ご注意事項

## ■国内株式 国内ETF／ETN 上場新株予約権証券（ライツ）

### 【株式等のお取引にかかるリスク】

株式等は株価（価格）の変動等により損失が生じるおそれがあります。上場投資信託（ETF）は連動対象となっている指数や指標等の変動等、上場投資証券（ETN）は連動対象となっている指数や指標等の変動等や発行体となる金融機関の信用力悪化等、上場不動産投資信託証券（REIT）は運用不動産の価格や収益力の変動等、ライツは転換後の価格や評価額の変動等により、損失が生じるおそれがあります。※ライツは上場および行使期間に定めがあり、当該期間内に行使しない場合には、投資金額を全額失うことがあります。

## ●レバレッジ型、インバース型ETF及びETNのお取引にあたっての留意点

上場有価証券等のうち、レバレッジ型、インバース型のETF及びETN（※）のお取引にあたっては、以下の点にご留意ください。

- ・レバレッジ型、インバース型のETF及びETNの価額の上昇率・下落率は、2営業日以上の場合、同期間の原指数の上昇率・下落率に一定の倍率を乗じたものとは通常一致せず、それが長期にわたり継続することにより、期待した投資成果が得られないおそれがあります。
- ・上記の理由から、レバレッジ型、インバース型のETF及びETNは、中長期間的な投資の目的に適合しない場合があります。
- ・レバレッジ型、インバース型のETF及びETNは、投資対象物や投資手法により銘柄固有のリスクが存在する場合があります。詳しくは別途銘柄ごとに作成された資料等でご確認いただく、またはコールセンターにてお尋ねください。

※「上場有価証券等」には、特定の指標（以下、「原指数」といいます。）の日々の上昇率・下落率に連動し1日に一度価額が算出される上場投資信託（以下「ETF」といいます。）及び指数連動証券（以下、「ETN」といいます。）が含まれ、ETF及びETNの中には、原指数の日々の上昇率・下落率に一定の倍率を乗じて算出された数値を対象指数とするものがあります。このうち、倍率が+（プラス）1を超えるものを「レバレッジ型」といい、-（マイナス）のもの（マイナス1倍以内のものを含みます）を「インバース型」といいます。

### 【信用取引にかかるリスク】

信用取引は取引の対象となっている株式等の株価（価格）の変動等により損失が生じるおそれがあります。信用取引は差し入れた委託保証金を上回る金額の取引をおこなうことができるため、大きな損失が発生する可能性があります。その損失額は差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。

### 【株式等のお取引にかかる費用】

国内株式の委託手数料は「超割コース」「いちにち定額コース」の2コースから選択することができます。



# 国内株式のリスクと費用について

## 〔超割コース（現物取引）〕

1回のお取引金額で手数料が決まります。

取引金額	取引手数料
5万円まで	50円（55円）
10万円まで	90円（99円）
20万円まで	105円（115円）
50万円まで	250円（275円）
100万円まで	487円（535円）
150万円まで	582円（640円）
3,000万円まで	921円（1,013円）
3,000万円超	973円（1,070円）

※（）内は税込金額

超割コース大口優遇の判定条件を達成すると、以下の優遇手数料が適用されます。大口優遇は一度条件を達成すると、3ヶ月間適用になります。詳しくは当社ウェブページをご参照ください。

## 〔超割コース 大口優遇（現物取引）〕

1回のお取引金額で手数料が決まります。

取引金額	取引手数料
10万円まで	0円
20万円まで	100円（110円）
50万円まで	238円（261円）
100万円まで	426円（468円）
150万円まで	509円（559円）
3,000万円まで	806円（886円）
3,000万円超	851円（936円）

※（）内は税込金額

## 〔超割コース（信用取引）〕

1回のお取引金額で手数料が決まります。

取引金額	取引手数料
10万円まで	90円（99円）
20万円まで	135円（148円）
50万円まで	180円（198円）
50万円超	350円（385円）

※（）内は税込金額

## 〔超割コース 大口優遇（信用取引）〕

約定金額にかかわらず取引手数料は0円です。

# 国内株式のリスクと費用について

## 【いちにち定額コース】

1日の取引金額合計（現物取引と信用取引合計）で手数料が決まります。

1日の取引金額合計	取引手数料
50万円まで	0円
100万円まで	858円（943円）
200万円まで	2,000円（2,200円）
300万円まで 以降、100万円増えるごとに1,100円追加。	3,000円（3,300円）

※（）内は税込金額

※1日の取引金額合計は、前営業日の夜間取引と当日の日中取引を合算して計算いたします。

※一般信用取引における返済期日が当日の「いちにち信用取引」、および当社が別途指定する銘柄の手数料は0円です。これらのお取引は、いちにち定額コースの取引金額合計に含まれません。

●カスタマーサービスセンターのオペレーターの取次ぎによる電話注文は、上記いずれのコースかに関わらず、1回のお取引ごとにオペレーター取次ぎによる手数料（最大で4,950円（税込））を頂戴いたします。詳しくは取引説明書等をご確認ください。

●信用取引には、上記の売買手数料の他にも各種費用がかかります。詳しくは取引説明書等をご確認ください。

●信用取引をおこなうには、委託保証金の差し入れが必要です。最低委託保証金は30万円、委託保証金率は30%、委託保証金最低維持率（追証ライン）が20%です。委託保証金の保証金率が20%未満となった場合、不足額を所定の時限までに当社に差し入れていただき、委託保証金へ振替えていただくか、建玉を決済していただく必要があります。レバレッジ型 E T F 等の一部の銘柄の場合や市場区分、市場の状況等により、30%を上回る委託保証金が必要な場合がありますので、ご注意ください。

# 国内株式のリスクと費用について

## 【貸株サービス・信用貸株にかかるリスクおよび費用】

（貸株サービスのみ）

### ●リスクについて

貸株サービスの利用に当社とお客様が締結する契約は「消費貸借契約」となります。株券等を貸付いただくにあたり、楽天証券よりお客様へ担保の提供はなされません（無担保取引）。

（信用貸株のみ）

### ●株券等の貸出設定について

信用貸株において、お客様が代用有価証券として当社に差入れている株券等（但し、当社が信用貸株の対象としていない銘柄は除く）のうち、一部の銘柄に限定して貸出すことができますが、各銘柄につき一部の数量のみに限定することはできませんので、ご注意ください。

（貸株サービス・信用貸株共通）

### ●当社の信用リスク

当社がお客様に引渡すべき株券等の引渡し、履行期日又は両者が合意した日に行われず場合があります。この場合、「株券等貸借取引に関する基本契約書」・「信用取引規定兼株券貸借取引取扱規定第2章」に基づき遅延損害金をお客様にお支払いいたしますが、履行期日又は両者が合意した日に返還を受けていた場合に株主として得られる権利（株主優待、議決権等）は、お客様は取得できません。

### ●投資者保護基金の対象とはなりません

貸付いただいた株券等は、証券会社が自社の資産とお客様の資産を区別して管理する分別保管および投資者保護基金による保護の対象とはなりません。

### ●手数料等諸費用について

お客様は、株券等を貸付いただくにあたり、取引手数料等の費用をお支払いいただく必要はありません。

●配当金等、株主の権利・義務について（貸借期間中、株券等は楽天証券名義又は第三者名義等になっており、この期間中において、お客様は株主としての権利義務をすべて喪失します。そのため一定期間株式を所有することで得られる株主提案権等について、貸借期間中はその株式を所有していないこととなりますので、ご注意ください。（但し、信用貸株では貸借期間中の全部又は一部においてお客様名義のままの場合もあり、この場合、お客様は株主としての権利義務の一部又は全部が保持されます。）株式分割等コーポレートアクションが発生した場合、自動的にお客様の口座に対象銘柄を返却することで、株主の権利を獲得します。権利獲得後の貸出設定は、お客様のお取引状況によってお手続きが異なりますのでご注意ください。

貸借期間中に権利確定日が到来した場合の配当金については、発行会社より配当の支払いがあった後所定の期日に、所得税相当額を差し引いた配当金相当額が楽天証券からお客様へ支払われます。

# 国内株式のリスクと費用について

## ●株主優待、配当金の情報について

株主優待の情報は、東洋経済新報社から提供されるデータを基にしており、原則として毎月1回の更新となります。更新日から次回更新日までの内容変更、売買単位の変更、分割による株数の変動には対応しておりません。また、貸株サービス・信用貸株内における配当金の情報は、TMI（Tokyo Market Information；東京証券取引所）より提供されるデータを基にしており、原則として毎営業日の更新となります。株主優待・配当金は各企業の判断で廃止・変更になる場合がありますので、必ず当該企業のホームページ等で内容をご確認ください。

## ●大量保有報告（短期大量譲渡に伴う変更報告書）の提出について

楽天証券、または楽天証券と共同保有者（金融商品取引法第27条の23第5項）の関係にある楽天証券グループ会社等が、貸株対象銘柄について変更報告書（同法第27条の25第2項）を提出する場合において、当社がお客様からお借りした同銘柄の株券等を同変更報告書提出義務発生日の直近60日間に、お客様に返還させていただいているときは、お客様の氏名、取引株数、契約の種類（株券消費貸借契約である旨）等、同銘柄についての楽天証券の譲渡の相手方、および対価に関する事項を同変更報告書に記載させていただく場合がございますので、予めご了承ください。

## ●税制について

株券貸借取引で支払われる貸借料及び貸借期間中に権利確定日が到来した場合の配当金相当額は、お客様が個人の場合、一般に雑所得又は事業所得として、総合課税の対象となります。なお、配当金相当額は、配当所得そのものではないため、配当控除は受けられません。また、お客様が法人の場合、一般に法人税に係る所得の計算上、益金の額に算入されます。税制は、お客様によりお取り扱いが異なる場合がありますので、詳しくは、税務署又は税理士等の専門家にご確認ください。

ご清聴ありがとうございました。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management